

令和 8 年度保育所等における実態調査

山梨県では、日本人と外国人の子どもが幼い頃から交流し、言葉や文化の違いを自然に受け入れながら、お互いに理解し合い、国籍にかかわらず、誰もが地域で安心して暮らせる環境づくりを進めています。本取組の推進にあたり、県内の保育の現状を把握することを目的として、保育所・認定こども園・幼稚園・地域型保育事業所を対象にアンケートを実施します。

なお、御回答いただいた内容は秘密を厳守し、個別の結果を公表することはありませんので、現状をありのままに御記入ください。御回答は、日々の子どもや保護者とのやりとりの中で、貴園として把握している範囲で差し支えありません。

（留意事項）

- ・調査基準日は、令和8年6月1日とします。
- ・本調査における「外国にルーツを持つ子ども」とは、国籍にかかわらず、父母のいずれか又は双方が外国出身である子どもを指します。
- ・御回答は、日々の子どもや保護者とのやりとりの中で、貴園として把握している範囲で差し支えありません。
- ・本調査における「保育士」には幼稚園教諭を、「保育補助者」には幼稚園教諭補助者をそれぞれ含みます。

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

1. 施設種別は次のうちどれですか。*

- ☐ 認可保育所
- ☐ 認定こども園
- ☐ 幼稚園
- ☐ 地域型保育事業所

2. 設置主体は次のうちどれですか。

*

- ☐ 公立
- ☐ 私立

3. 施設所在地を教えてください。

*

答えの選択



4. 施設名称を教えてください。*

回答を入力してください

5. 回答者の職・氏名 *

回答を入力してください

6. 入所児童数を教えてください。※令和 8 年6月1日現在（半角数字でご記入ください。単位の記入は不要です。例：10） *

回答を入力してください

7. 全ての園にうかがいます。令和 8 年6月1日時点において、外国にルーツを持つ子どもがいますか。いる場合はその他欄に人数を記載してください。

※貴園で把握されている範囲でご回答ください。（選択は1つまで） *

☐ いない

☐ その他

8. 令和 8 年6月1日時点で、貴園に在籍している外国にルーツを持つ子どもの国籍・地域別人数と年齢を教えてください。

※貴園で把握されている範囲でご回答ください。

※複数国籍を持つ場合は、主に子育てに関わる親あるいは家族の国籍・地域をご記入ください。

回答例)

ベトナム：5人（0歳1人、1歳2人、3歳2人）

ブラジル：3人（2歳1人、4歳2人）

日本：2人（1歳1人、5歳1人）

回答を入力してください

9. 昨年（令和7年6月1日時点）と比較して、貴園における外国にルーツを持つ子どもの受け入れ状況の変化について、あてはまるもの1つを選択してください。 *

☐ 1年前は少なかったが増加している

☐ 1年前から多かったがさらに増加している

☐ 1年前から少なくあまり変化はない

☐ 1年前から多くあまり変化はない

☐ わからない

☐ その他

10. 外国にルーツを持つ子どもは、家庭内での使用言語について、凡そどのように把握していますか、またどのように助言していますか。（複数選択可）

- ☐ 主に日本語を使っているようだ
- ☐ 主に日本語以外の親の母語を使っているようだ
- ☐ 日本語と親の母語の両方を織り交ぜて使っているようだ
- ☐ 家庭内では主に子育てに関わる親の母語を使うようにすすめている
- ☐ 家庭内でできるだけ日本語を使うことを勧めている
- ☐ その他

11. 外国にルーツを持つ子どもは、園生活の中でどの言語を主に使用していますか。（複数選択可）

- ☐ 日本語
- ☐ 日本語と母語を同じ相手との会話の中で、混ぜて使っている（例：1つの会話の中で、日本語と母語がまざる）
- ☐ 日本語と母語を相手や場面によって使い分けている（例：先生には日本語、家族や同じ言語の友だちには母語）
- ☐ 母語が中心
- ☐ 日本語理解はあるが発語が少ない
- ☐ 日本語の理解・発語ともに少ない
- ☐ その他

12. 外国にルーツを持つ子どもの保護者とのやりとりで、主に使用している言語は何ですか。（複数選択可）

- ☐ 日本語で問題ない
- ☐ 簡単なやさしい日本語であれば可能
- ☐ 日本語と母語の併用
- ☐ 母語のみ（通訳・翻訳が必須）
- ☐ その他

13. 外国にルーツを持つ子ども・保護者を支援するために人員配置等を行っていますか。（複数選択可）

- ☐ 負担軽減のため一般の保育士・保育補助者を配置している
- ☐ 母語が話せる保育士・保育補助者（子育て支援員等）を配置している
- ☐ 言語面のサポートに特化したボランティアを含む通訳要員（保育士・保育補助者ではない）を配置している
- ☐ 言語面のサポートが必要なときに自治体職員の派遣を要請している
- ☐ 言語面のサポートが必要なときに民間の通訳者の派遣を要請している

- ☐ 外国にルーツを持つ子どもの支援が必要なときに地域のボランティア等を要請している
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

14. 人員配置を行っている場合にお答えください。人員配置（ボランティアを含む）が必要となるのはどのような場面ですか。（複数選択可）

- ☐ 入園説明会等の行事
- ☐ 日頃の保護者とのやりとり
- ☐ 日頃の子どものやりとり
- ☐ 保護者とのトラブル発生
- ☐ 子どもの病気や怪我等の緊急対応（専門用語を必要とするような場面）
- ☐ その他

15. 人員配置を行っている場合にお答えください。活用する上での課題はありますか。（複数選択可）

- ☐ 人数が足りない
- ☐ 利用したいときに利用できない
- ☐ 正しく伝わっているかわからない
- ☐ 通訳と子ども・保護者のやりとりに保育者が関われない
- ☐ 特に課題はない
- ☐ その他

16. 翻訳機器や翻訳アプリを活用していますか。（複数選択可）

- ☐ 市町村からの補助等を受けて翻訳機器（ポケトーク等）を導入している（スマートフォンの翻訳アプリ利用は除く）
- ☐ 園独自に、翻訳機器（ポケトーク等）を導入している（スマートフォンの翻訳アプリ利用は除く）
- ☐ 民間事業者が提供するスマートフォン等の翻訳アプリ（Google翻訳やChatGPTなどのAIを含む）を利用している
- ☐ 公的機関が提供するスマートフォン等の翻訳アプリ（VoiceTraなど）を利用している
- ☐ その他

17. 翻訳機器や翻訳アプリを利用している場合にうかがいます。具体的にどのように活用されていますか。（複数選択可）

- ☐ 入園説明会等の行事
- ☐ 日頃の保護者とのやりとり
- ☐ 日頃の子どもとのやりとり
- ☐ 保護者とのトラブル発生
- ☐ 子どもの病気や怪我等の緊急対応（専門用語を必要とするような場面）
- ☐ その他

18. 外国にルーツを持つ子どもへの教育・保育を充実させるため、園として以下のような取組を行っていますか。（複数選択可）

- ☐ 園内で研修や勉強会等を開催している
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもについて通訳や母語が話せる保育士・保育補助者と一般の保育士とで情報共有する機会を設けている
- ☐ 他の園との情報交換を行っている
- ☐ 園外の研修に参加している
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

19. 教育・保育を充実させるための取組を行っている園にうかがいます。外国にルーツを持つ子どもへの教育・保育に関する研修や取組は、どのような内容が中心ですか。（複数選択可）

- ☐ 日本語支援や多言語対応など、言語面に関する内容
- ☐ 文化的背景や生活習慣の違いに関する理解
- ☐ 発達や心理面の理解
- ☐ インクルーシブ保育（多様性を尊重した保育）の実践
- ☐ 保護者対応（コミュニケーションや支援方法）
- ☐ 特にテーマは定まっていない
- ☐ その他

20. 教育・保育を充実させるための取組を行っている園にうかがいます。これらの研修や取組は、どの程度の頻度で行われていますか。

- ☐ 単発的に実施している（必要に応じて不定期に実施）

- ☐ 年に1回程度実施している
- ☐ 年に複数回実施している
- ☐ その他

21. 教育・保育を充実させるための取組を行っている園にうかがいます。研修や取組の内容は、園内でどのように共有・活用されていますか。（複数選択可）

- ☐ 職員間で内容を共有する機会がある（会議・記録など）
- ☐ 日常の保育実践の見直しや改善に活かされている
- ☐ 職員同士で意見交換や振り返りを行っている
- ☐ 一部の職員のみで共有されている
- ☐ 特に共有・活用していない
- ☐ その他

22. 外国にルーツを持つ子どもを含む、特別な配慮を要する子どもを支援するため、通常の教育・保育の中で次のような取組を行っていますか。（複数選択可）

- ☐ 子どもの母語による声かけ
- ☐ 園内の表示の多言語化
- ☐ コミュニケーションや認知に課題があるように見られる場合、わかりやすい日本語やイラスト、ジェスチャー等の使用
- ☐ 宗教や生活習慣の違いへの配慮（給食対応、行事への参加配慮など）
- ☐ 各国の文化をお互いに知るための取組（各国の言葉を用いた手遊び、絵本の読み聞かせなど）
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

23. 子どもへの支援として、日常の教育・保育の中でどのような取組を行っているか、具体的な内容や方法を教えてください。（自由記述）

回答を入力してください

24. 貴園では、力を注いでいる異文化プログラム、行事などの取組はありますか。（複数選択可）

- ☐ 園児を地域の外国人の行事・集まりへ参加させたり見学させる
- ☐ 外国語学習を取り入れている
- ☐ 日本語教室を開いている（外国籍園児・保護者対象）
- ☐ 外国の遊び・文化・食事を取り入れている
- ☐ 外国語の広報物を発行している
- ☐ 外国籍の保護者に文化（習慣、遊び、絵本など）の紹介をする機会をつくっている
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

25. 外国にルーツを持つ子どもに対して小学校への円滑な接続や、就学後の学習・学校生活を見据えて、園として、あるいは地域として、何らかの取組を行っていますか。

- ☐ すでに取組を行っている
- ☐ 必要性は感じているが対応できていない
- ☐ 特に必要性を感じていない
- ☐ その他

26. 小学校への円滑な接続や、就学後の学習・学校生活を見据えた取組を行っている園にうかがいます。具体的にどのような取組を行っていますか。

回答を入力してください

27. 外国にルーツを持つ子どもの受け入れについて、現時点でのご意向をお聞かせください。（選択は1つまで）

*

- ☐ 受け入れたい
- ☐ どちらかと言えば受け入れたい
- ☐ どちらかと言えば受け入れたくない
- ☐ 受け入れたくない、または受け入れができない

28. 「受け入れたい」、「どちらかと言えば受け入れたい」と答えた園にうかがいます。その理由は何ですか。（複数選択可）

- ☐ 国籍等に関係なく園として入所希望者を受け入れるのは当然のことだから
- ☐ 園として外国にルーツを持つ子どもを受け入れる体制を整えているから
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもを受け入れることで日本人の園児の多様性や多様な文化等への理解が広がるから
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもを受け入れることで保護者の外国文化への相互理解が深まるから
- ☐ その他

29. 「どちらかと言えば受け入れたくない」、「受け入れたくない、もしくは受け入れできない」と答えた園にうかがいます。その理由は何ですか。（複数選択可）

- ☐ 職員数が不足しているため
- ☐ 日本語支援や通訳等の体制が整っていないため
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもを含む、特別な配慮を要する子どもへの対応体制が十分でないため
- ☐ 保護者との意思疎通に不安があるため
- ☐ 過去の受け入れにおいて対応に困難があったため
- ☐ 他の園児や保護者との関係調整に不安があるため
- ☐ 自園の教育・保育方針との適合に懸念があるため
- ☐ 現時点では受け入れを想定していないため
- ☐ その他

30. 全ての園にうかがいます。外国にルーツを持つ子どもを含む、特別な配慮を要する子どもの受け入れに関して、どのような課題がありますか。（複数選択可）

- ☐ 外国にルーツを持つ子どもや保護者の具体的な困りごとやニーズがわからない
- ☐ 通訳・翻訳体制が十分ではない
- ☐ 専門的な知識・理解が不十分である
- ☐ 個別的な配慮などを実施する上での人員が足りない
- ☐ 個別的な配慮などを実施する上での事業費が足りない
- ☐ 自治体との連携体制が十分に構築できていない
- ☐ 他の園が実施している支援・サポート等の参考情報が足りない
- ☐ 特に課題と感じていることはない

☐ その他

31. 外国にルーツを持つ子ども・保護者への対応に関して、保育士等の現場対応者が負担や難しさを感じることはあるのは、どのような点ですか。（複数選択可）

- ☐ どのような関わりや声かけが適切なのか判断に迷う場面がある
- ☐ 言葉や文化の違いから誤解やトラブルが生じないか不安になる
- ☐ 国籍に関係なく「同じように接する」と「配慮をする」ことのバランスに悩む
- ☐ 対応に時間や手間がかかり業務全体に余裕がなくなっている
- ☐ 外国人対応に対して、苦手意識や不安を感じる
- ☐ 多文化共生に関する知識や理解が十分とは言えず不安を感じる
- ☐ 対応を相談できる相手、窓口がなく不安がある
- ☐ 子どもの行動の特徴が文化や言語の問題か発達の問題か判断に迷う場合がある
- ☐ 特に必要な支援は感じていない
- ☐ その他

32. 負担や難しさを感じることの背景として当てはまるものを教えてください。（複数選択可）

- ☐ 言語や文化の違いによるもの
- ☐ 発達特性やその可能性が影響していると考えられるもの
- ☐ 家庭の生活状況や養育環境が影響しているもの
- ☐ 保護者の制度理解や情報不足によるもの
- ☐ 子ども本人や、その兄弟・姉妹など家族が通訳や仲介役を担っている状況
- ☐ 複数の要因が重なり、原因や対応の方向性を判断するのが難しいもの
- ☐ 特定の要因には当てはまらない
- ☐ その他

33. 外国にルーツを持つ子どもを含む、特別な配慮を要する子どもとのコミュニケーションにおいて、困りごとが生じやすいのはどのような場面だと思いますか。（複数選択可）

- ☐ 日常の声かけや会話（指示・問いかけ・返答の理解など）
- ☐ 集団活動の説明やルールを伝える場面

- ☐ 子どもの気持ちや要求をくみ取る場面
- ☐ 体調不良や不快感の訴えをくみ取る場面
- ☐ 生活習慣（着替え、手洗い、排せつ、午睡など）の説明
- ☐ 危険回避や安全指導が必要な場面
- ☐ 他児とのトラブル時の聞き取り・仲裁
- ☐ 特に困りごとはない
- ☐ その他

34. 外国にルーツを持つ保護者を含む、特別な配慮を要する**保護者とのコミュニケーション**において、困りごとが生じやすいのはどのような場面だと思いますか。（複数選択可）

- ☐ 入園説明会や個別面談での説明
- ☐ 園のルールや方針（持ち物、登園時間、欠席連絡等）の説明
- ☐ 園での子どもの様子を伝える場面
- ☐ ケガ・体調不良・発熱時の連絡
- ☐ 発達や育ちについて話し合う場面
- ☐ 子ども同士のトラブルについて説明する場面
- ☐ 給食対応・宗教的配慮等についての確認
- ☐ 特に困りごとはない
- ☐ その他

35. 外国にルーツを持つ子どもを含む、特別な配慮を要する**子どもの食事の場面**において、子どもとの関わりで困りごとが生じやすいのはどのような場面だと思いますか。（複数選択可）

- ☐ 宗教や文化上の理由による食事への対応
- ☐ アレルギーに関する情報が正しく把握・共有できているか不安な場面
- ☐ 食べない理由（嫌い・不安・文化差など）が分かりにくい場面
- ☐ 食事時のルールやマナーが伝わりにくい場面
- ☐ 見たことのない料理に対する抵抗や不安が強い場面
- ☐ 特に困りごとはない

☐ その他

36. 外国にルーツを持つ子どもを含む、特別な配慮を要する**子どもの食事の場面**において、**保護者との関わり**で困りごとが生じやすいのはどのような場面だと思われますか。（複数選択可）

☐ 宗教・文化的配慮と園の対応可能範囲を調整する場面

☐ 使用する食材について保護者に説明する場面

☐ 日本の給食や園の食事方針を理解してもらう場面

☐ 個別対応が難しい場合に理解を得る場面

☐ 認識の違いから不安や不満が生じた場面

☐ 特に困りごとはない

☐ その他

37. 外国にルーツを持つ子どもを受け入れるために行政にどのような支援を望みますか。（選択は上位3つまで）

☐ マニュアルなど外国人保育への参考書配付

☐ 通訳のあっせん

☐ 外国人保育への保育士雇用費用の補助

☐ 外国人保育への子育て支援員等補助員雇用の補助

☐ 外国語による入園のしおりの配付

☐ 研修等受講費用の補助

☐ 通訳・翻訳・保育活動等への伴走支援（サポート人材による園への定期訪問 等）

☐ 保育士・保育補助者を対象とした研修会の開催

☐ その他

38. 県では、在住外国人向け一元的相談窓口「やまなし外国人相談支援センター」を開設していますが、知っていますか。

☐ 知っている

☐ 知らない

39. その他、外国にルーツを持つ子ども・保護者の受け入れに関してご意見等がありましたら、記載してください。

回答を入力してください



このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーやセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

Microsoft Forms | AI を活用したアンケート、クイズ、投票 [独自のフォームの作成](#)

このフォームの所有者は、応答データの使用方法についてのプライバシーに関する声明を提供していません。個人情報や機密情報を記載しないでください。| [利用規約](#)